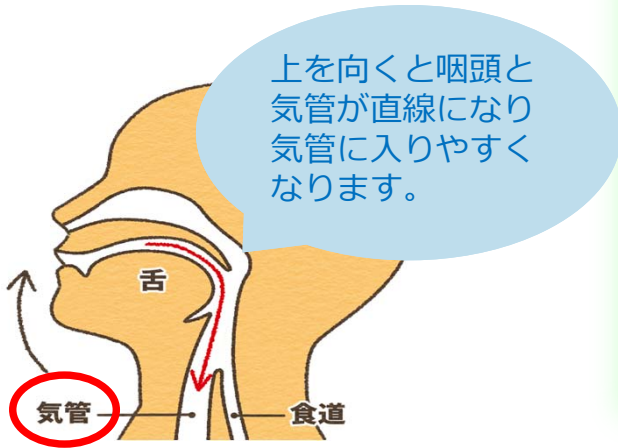


バリウム検査の安全対策

バリウム飲用時の注意



検査に使用するバリウムは、濃度が高く、ドロツとして固まりやすいものです。

誤って気管に入ると、咳などで十分に排出することが難しくなります。まれに、呼吸器疾患を引き起こす恐れがあるため注意が必要です。

- 注 ① 誤嚥のリスクは、年齢が上がるとともに高まります。
② 飲み方によっては、年齢を問わず誤嚥する方もいらっしゃいます。

誤嚥防止対策の取り組み

飲用方法をコップから**ストロー**に変えました



バリウムが口の中に広がらないので味を感じにくく、飲みやすかった



バリウムの量が少なく感じられた!!

飲み方のポイント

- 下向きで飲む
- 少量を一口で飲む
- あせらずゆっくり飲む

安全に検査をするために、是非ご協力ください!

